

重点目標一覧表

担当部局名	真田地域自治センター
-------	------------

【令和7年度重点目標】

重点目標	市民が主役「心豊かな 協働のまちづくり」の推進	各部局の 自己評価	○
具体的な重点取組項目（箇条書き）		達成状況・達成度	
1	① 地域と人がつながるデジタルネットワーク (1) 地域内のデジタル化推進事業 ・ 地域内デジタル化事業の説明会 ・ グループ機能活用支援 ・ はれラジ連携による地域への情報配信 ・ デジタル活用による定期送達書類軽減化推進	① (1) ・ 自治会での説明会（9回） ・ 関係課との事業連携のための説明会、庁内ワーキンググループ会議、定住自立圏デジタル会議発表、武石地域住民防災会議（各1回） ・ 地区自治会連合会での説明（3回）、地域リハビリテーション（真田地域包括支援センター）での説明会（1回） ・ はれラジとの番組連携（毎月） ・ 電子定期送達配信（毎月計12回）	
	(2) 関係課等のデジタル活用推進 ・ 公民館スマホ講習事業との連携 ・ 自治会宛て文書等のデジタル化推進	(2) ・ 公民館スマホ講座との連携（2回） ・ 自治会長への電子申請による回答依頼（4回）、地域づくり委員会等書類の電子化推進（要望書）	
	② 地域づくり委員会との協働によるまちづくり (1) 地域のまちづくりに活用できる情報提供 (2) 地域課題の把握と関係課との情報共有	② (1) 補助制度等の冊子作成による真田地域全自治会への情報提供（7月） (2) 地域づくり要望の取りまとめと関係課への情報共有及び回答依頼（9月）	
	③ 住民自治組織「真田の郷まちづくり推進会議」への支援 (1) 地域住民への活動周知 (2) 地域づくり委員会から把握した課題等の共有 (3) 住民自治組織参画団体等増加に向けた支援	③ (1) 「はれラジ」のラジオ番組ゲストとして、地域活動者（2名）が参加（6/26「防災」、8/28「真田の郷を描く」）、会報「さなぎ」配布（2回） (2) 11月に情報共有 (3) 住民自治組織との協議（2回）、交通安全協会解散に伴う住民自治組織への参加打ち合わせ（随時）	

重点目標	多彩な地域資源を生かした魅力発信	各部局の 自己評価	○
具体的な重点取組項目（箇条書き）		達成状況・達成度	
2	① 「スポーツ合宿の聖地 菅平高原」の魅力アップに向けた施策の推進 (1) ネーミングライツパートナーとの協働による各種施策の推進（アンダーアーマー菅平サニアパーク・アンダーアーマー菅平アリーナ） (2) ホームページ・SNSを活用したPR (3) ラグビー合宿の聖地を活かした連携とPR	① (1) 高所トレーニング国際シンポジウム、上田古戦場ハーフマラソン、真田地域一周駅伝大会、ともしびの里駅伝大会の実施を通じた連携 (2) 市のホームページ及びネーミングライツパートナーの特設ページ、facebook、LINE等を通じて利用促進に向けた情報発信。「最強の詩夏合宿番外編」は214,000ビュー到達 (3) 8月東大阪市が、コベルコカップで選手を激励する横断幕の設置とブース出展、また真田まつりにも出展し、PRを実施。12月、東大阪市の花園ラグビー場において選手を激励する横断幕の設置とブース出展によるPRを実施	
	② 菅平地区観光施設の安全性と快適性、長寿命化に向けた改修整備 (1) 2028年国民スポーツ大会開催に向けて安全性・快適性の向上を目指したアンダーアーマー菅平サニアパークの施設整備 (2) 菅平高原国際リゾートセンターの長寿命化に向けた改修整備	② (1) 大型バス送迎待機所拡幅工事10/17に工事完了 (2) ドライエリア擁壁改修工事9/22に改修工事完了	
	③ 菅平高原自然館の今後の方針策定 (1) 今後の方向性及び展示品・所蔵品の利活用の検討	③ (1) アンケート結果を受けて、地元関係者と協議を行い、今後のあり方について一定の方向性を確認	
	④ 地域特性を生かしたイベントの開催 (1) 真田ブランドを生かした祭りの開催 (2) 菅平高原のフィールドを生かしたイベントの開催	④ (1) 上田市誕生20周年記念第41回真田まつりを8月2日に開催（約5,500人来場）。 (2) 第8回花百名山根子岳笹刈りを10月18日に開催。筑波大学山岳科学センター准教授の指導のもと、山野草の植生回復に向けて笹刈りを実施。一般ボランティア12名を含む、計37名が参加	
	⑤ ダボスとの姉妹都市交流の推進 (1) ダボスとの交流推進に向けたイベントの開催 (2) 提携50周年記念事業に向けた準備	⑤ (1) スイス特別企画給食 真田地域全小中学校（9/5） (2) 実行委員会（9/11、12/22）スイス大使館訪問（8/8）、飯綱町訪問（8/21、1/7）、アルプホルン奏者現地案内（12/16）、テレビ企画番組等協議（2/2）	

重点目標	真田地域の福祉施設の在り方の検討	各部局の 自己評価	○
具体的な重点取組項目（箇条書き）		達成状況・達成度	
3	① 真田地域の福祉施設の在り方の検討 (1) 福祉分野（障がい者、高齢者、ボランティア等）で必要となる機能の検討 (2) 周辺施設との統廃合についての検討 (3) 入浴事業の見直しについての検討 (4) 真田総合福祉センターと真田老人福祉センターの在り方検討	① (1) 事業所・法人（7回）、関係部署（7回） ・ 公共施設への機能集約の方向とする (2) 事業所・法人（7回）、関係部署（7回） ・ 公共施設への機能集約の方向とする (3) 高齢者介護課（1回）、関係部署（2回） ・ 入浴事業は現状維持の方向とする (4) 地域協議会分科会の調査研究支援（3回）	

【令和8年度重点目標】

重点目標	多彩な観光資源を生かした魅力発信	期限・数値目標等
具体的な重点取組項目（箇条書き）		① (1) 榊ドームと地元観光協会など各種団体等との連携を強化し、事業を推進（年度内） (2) 利用促進に向けた情報発信（年度内） (3) 東大阪市花園ラグビー場との連携による菅平高原のPR活動の推進（年度内） (4) 菅平の現状把握や地域住民との関係づくり等、地域おこし協力隊の活動を支援（年度内）
1	① 「スポーツ合宿の聖地 菅平高原」の魅力アップに向けた施策の推進 (1) ネーミングライツパートナーとの協働による各種施策の推進（アンダーアーマー菅平サニアパーク・アンダーアーマー菅平アリーナ） (2) ホームページ・SNSを活用したPR (3) ラグビー合宿の聖地を活かした連携とPR (4) 地元関係団体等と連携し、菅平高原の活性化や観光振興、課題解決に向けた取組を実施	
	② 菅平地区観光施設の安全性と快適性、長寿命化に向けた改修整備 (1) 2028年国民スポーツ大会開催に向けて安全性・快適性の向上を目指したアンダーアーマー菅平サニアパークの施設整備	
	③ 菅平高原自然館の今後の方針策定 (1) 今後の方向性及び展示品・所蔵品の利活用の検討	③ (1) 関係団体等との協議（年度内）
	④ 地域特性を生かしたイベントの開催 (1) 真田ブランドを生かした祭りの開催 (2) 菅平高原のフィールドを生かしたイベントの開催	④ (1) 第42回真田まつりの開催（8月） ・ 鉄砲隊等の出演 (2) ササ刈りイベントの開催
	⑤ ダボスとの姉妹都市交流の推進 (1) 姉妹都市提携50周年記念事業の実施	(1) 記念事業の実施（11/7）及び冠事業開催支援（年度内）

重点目標	地域の特性を生かした農業の振興	期限・数値目標等
具体的な重点取組項目（箇条書き）		① (1) 関係機関と連携した認定新規就農者（4人）への支援（年度内） (2) 収穫作業委託（2件）（年度内） ② (1) 貸出希望農地の担い手への農地集積（3,000㎡）（年度内） (2) ヘーゼルナッツの苗木斡旋（100本）及び栽培技術等の研究（年度内） ③ (1) 夢工房だより・ホームページやメール配信を活用した情報発信（通年） (2) 近隣店舗等と連携して開催 ・ 来場者数：1,500人（11月）
2	① 多様な担い手の確保・育成 (1) 新規就農者への支援 (2) 農福連携の推進	
	② 遊休荒廃農地対策 (1) 遊休農地の発生防止及び解消に向けた取組の推進 (2) 特産果樹の新品種の普及促進	
	③ 地域農業の魅力発信 (1) ゆきむら夢工房からの情報発信 (2) 賑わいのある新そばまつりの開催	

重点目標	市民が主役「心豊かな 協働のまちづくり」の推進	期限・数値目標等
具体的な重点取組項目（箇条書き）		① (1) ・ 自治会等での説明（随時）（年度内） ・ はれラジとの番組連携（毎月）（年度内） ・ 電子定期送達配信（12回）（年度内） (2) ・ 本庁関係課との協議（2回） ・ 事業連携（2回） ・ 地域づくり委員会要望書、会議出欠報告（随時） ② (1) 地域づくり委員会での情報提供（8月まで） (2) 関係課等へ課題の情報提供と対応依頼（通年） ③ (1) ラジオ等での広報の支援、会報「さなぎ」配布（通年） (2) 地域課題の情報共有（随時） (3) 住民自治組織との会議（2回）
3	① 地域と人がつながるデジタルネットワーク (1) 地域内のデジタル化推進事業 ・ 地域内デジタル化事業の支援 ・ はれラジ連携による地域への情報配信 ・ デジタル活用による定期送達書類軽減化推進 (2) 関係課等のデジタル活用推進 ・ 関係課等との活用方針調整 ・ 公民館スマホ講習事業との連携 ・ 自治会からの提出文書等のデジタル化推進	
	② 地域づくり委員会との協働によるまちづくり (1) 地域へのまちづくりに活用できる情報提供 (2) 地域課題の把握と関係課との情報共有	
	③ 住民自治組織「真田の郷まちづくり推進会議」への支援 (1) 地域住民への活動周知 (2) 地域づくり委員会から把握した課題等の共有 (3) 住民自治組織参画団体等増加に向けた支援	

重点目標一覧表

担当部局名	真田地域自治センター
-------	------------

【令和7年度重点目標】

4	重 点 目 標	地域の特性を生かした農業の振興	各部局の 自己評価	○
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		達成状況・達成度	
	① 農林産物展示販売施設の今後の方針検討 （1）施設の利活用の検討	① （1）令和8年2月用途廃止完了。3月に普通財産として貸付事業者選定のプロポーザル審査を行い、令和8年度からの貸付事業者を決定		
	② 多様な担い手の確保・育成 （1）新規就農者への支援 （2）農福連携の推進	② （1）関係機関と連携して新規就農者のサポートに取り組み、2月にそれぞれ2回目の面談を実施 （2）ブルーベリー収穫作業委託（3件）		
	③ 遊休荒廃農地対策 （1）遊休農地の発生防止及び解消に向けた取組の推進 （2）特産果樹の新品種の普及促進	③ （1）貸出希望農地の担い手への農地集積 8,912㎡ （2）特産果樹研究会会員及び真田地域住民から要望を受けた苗木120本を配付		
	④ 地域農業の魅力発信 （1）ゆきむら夢工房からの情報発信 （2）賑わいのある新そばまつりの開催	④ （1）「ゆきむら夢工房だより」を毎月1回発行の他、ホームページやメール配信を活用してPRを随時実施 （2）上田市誕生20周年記念事業として、近隣店舗等と大収穫祭として合同開催。悪天候のため来場者数は1,400人に留まったが、全体の売り上げは前年と同程度を確保		

【令和8年度重点目標】

4	重 点 目 標	資源循環型社会の構築と安全・安心な地域づくりの推進
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	
	① ごみの減量・再資源化に関する啓発 （1）ごみの減量・再資源化に関する啓発 （2）漏油に係る指導及び注意喚起	（1）広報、地域づくり委員会他キクもん等デジタル媒体による啓発（通年） （2）広報、デジタル媒体等による周知啓発、消防や県等との連携（通年）
	② 安全・安心な地域づくりの推進 （1）地域住民や各団体組織との連携・協働 （2）交通安全及び防犯意識の向上推進	（1）真田地域消費生活展等広報活動及び関係団体との連携（通年） （2）交通安全運動（春・夏・秋）、防犯パトロール実施（通年）
	③ 持続可能な地域にしていく土台となる真田地域住民の健康づくり （1）各団体や組織への健康に関する知識等の啓発	（1）まちづくり推進会議とのコラボ及び消費生活展等での啓発（通年）